



公園のベンチに座って、子どもたち数人が楽しく携帯ゲーム機で遊んでいました。後から来た親がせっかく公園にいるのだから「他の遊びをしない」と子どもたちからゲーム機を取り上げました。これって子どもの権利を考えた場合、どうなのでしょう？

問い合わせ先 子ども育成課 ☎ (36) 1214

子どもたちが、ゲーム機を持っていてる子を見かけます。子どもたちはゲーム機を通して、友達になつたり、ゲームの内容を話題に盛り上がりたりしながら、コミュニケーションを取っています。これは、子どもの「自分で考え行動する権利」が守られた姿です。

きます。

例えば、鬼ごっこや縄跳びなどの外遊びでは、走ったり、跳ねたり、しゃがんだり、バランスを取ったりと、無意識のうちにも多種多様な動きをしながら、全身の筋肉や骨を鍛えることができます。また、体力の限界から、自分ができなことが分かります。さらに、暑い、寒い、暖かい、涼しいなど微妙な季節感を肌で感じたり、日光を浴びることで自己免疫力や自然治癒力を高めたりすることができ

ます。このように、外遊びは必然的に五感を働かせ、体力や自己防衛能力を育んでいきます。そのような気持ちから、ゲーム機を預かり、外遊びの楽しさを子どもたちに伝えていくことも、大人の役割として大切です。

子どもを取り巻く環境を見てみると、外で遊ぶ「時間」「空間(場所)」「仲間」が少なくなっているように思います。それが原因で、外遊びの中で培われてきた学びの機会が不足しているようです。

子どもが生まれる前に持っている能力を伸ばすために欠かせないものがあります。そもそも、遊びとは、子どもが生まれながらに持っている能力を伸ばすために欠かせないものがあります。



子どもが自由に遊べる「子どもプレーパーク」

子どもは遊びの天才です。自由な空間(場所)があれば、「仲間」と遊びが自然に始まり、遊びを通して成長し、共に生きていく力を身につけていきます。



七夕伝説と御嶽神社へ 続く参道(中津宮境内)

大島の南側に位置する中津宮は、大島港渡船ターミナルから徒歩5分のところにあります。日露戦争の戦勝を記念した鳥居をくぐると、境内左側に天の川が流れています。その川を挟んで、牽牛社(けんぎゅうしゃ)と織女社(しよくじよしゃ)があり、七夕伝説をそのままに配置されています。

宮(ほしみや)と紹介されています。天の川に棚(小さなせき)を設け、その水面に意中の人が映れば恋は成就するとされています。毎年8月7日に実施されている七夕祭は、鎌倉時代から伝えられています。神社境内の配置は、明治期以降の鳥居や灯笼を除くと、江戸時代に描かれた絵図とほぼ変わりがありません。

は、県内でも珍しいバクチノキが多く繁殖するなど、原始的な空間をつくり出しています。中津宮の境内は、海に面している部分だけではありませぬ。社殿裏を抜ける御嶽山の山頂へ向かう参道があり、標高244mの山頂には御嶽神社があります。その周辺から、沖ノ島の露天祭祀(さいし)と同時期の祭祀遺跡が平成22年度の確認調査で見えられ、中津宮の始まりを示すことが

分かりました。大島御嶽山遺跡と参道は、国の史跡「宗像神社境内」として年内に追加指定される予定です。山頂からは、沖ノ島(沖津宮)、田島(辺津宮)を見渡すことができます。古代も、この場所から、海域を航行する遣唐使船など

筑前続風土記には、「古今集榮雅抄(えいがしよ)」などを引用し、星

また、社殿北側に広がる社叢林(しゃそうりん)

また、社殿北側に広がる社叢林(しゃそうりん)

また、社殿北側に広がる社叢林(しゃそうりん)



国指定史跡に追加となる御嶽山参道

の安全を願って、祭祀が実施されていた情景が想像できます。

問い合わせ先 世界遺産登録推進室 (海の道むなかた館) ☎ (62) 2617

第67回 読書週間 10月27日 ~ 11月9日

本と旅する 本を旅する

昭和22年、まだ戦争の傷跡が日本中のあちこちに残っている時、「読書の力で平和な文化国家を創ろう」と、出版社、取次会社、書店と図書館が力を合わせ、そして、新聞や放送局などのマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が催されました。



宗像市民図書館

第1回は11月17日~同23日に開催。これは、アメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのに倣ったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開催されたり、読書運動を紹介する番組が作られたりしました。現在の10月27日~11月9日になったのは、第2回からです。



それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界の中でも特に「本を読む国」となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人一人に読書の素晴らしさを知ってもらおうきっかけとなればと思います。

秋の夜語り

市民図書館では、大人向けのおはなし会「秋の夜語り」を開催します。普段はなかなか語りを聞く機会がない大人のための会です。秋の夜長、図書館でゆったりとした時間を過ごしてください。事前申込不要。参加無料。

- 日時 11月15日(金)
 - ▽開場=18:50
 - ▽実施=19:00~20:30
- 場所 宗像ユリックス図書館
- 内容 「千枚皮」「おじいちゃんがおばけになったわけ」「地獄からもどった男」「八代のツルガキ」「雪女」「月はなぜふとったりやせたりするか」など
- 語り むなかた語りの会

問い合わせ先 市民図書館 ☎ (37) 1321